

# ぴちぴち戦士

勇者の仲間3



まんじゅうろう



あらすじ  
冒険の旅に出ようとした  
勇者にすすめられた仲間は  
なんでもスケベで解決してしまう  
快男児 性者であった  
旅の途中人間を売り買っている  
悪いモンスターがいると知って  
稀に見る正義の人 勇者と性者は  
攫われた人を助けに行くのであった



ああん  
ダメエこんなの  
初めてえ……!



中で私のオマ○コに  
ぴったり合ってる!

人間のオチ○ポで  
私たくさん気持ちよく  
なっちゃうよう?!

素直で良い娘なのです  
それでは私も  
そろそろイクのです……!



きてきて  
いっばい来てえっつ!

人間ザーメン  
私の中にいっばい  
出してえっつ!

これからは  
人間を襲ったりしては  
いけないのですよ...

オ、オーイ...

...ハイ、

...もう  
いいかしら?  
あ?あ、  
ああ...



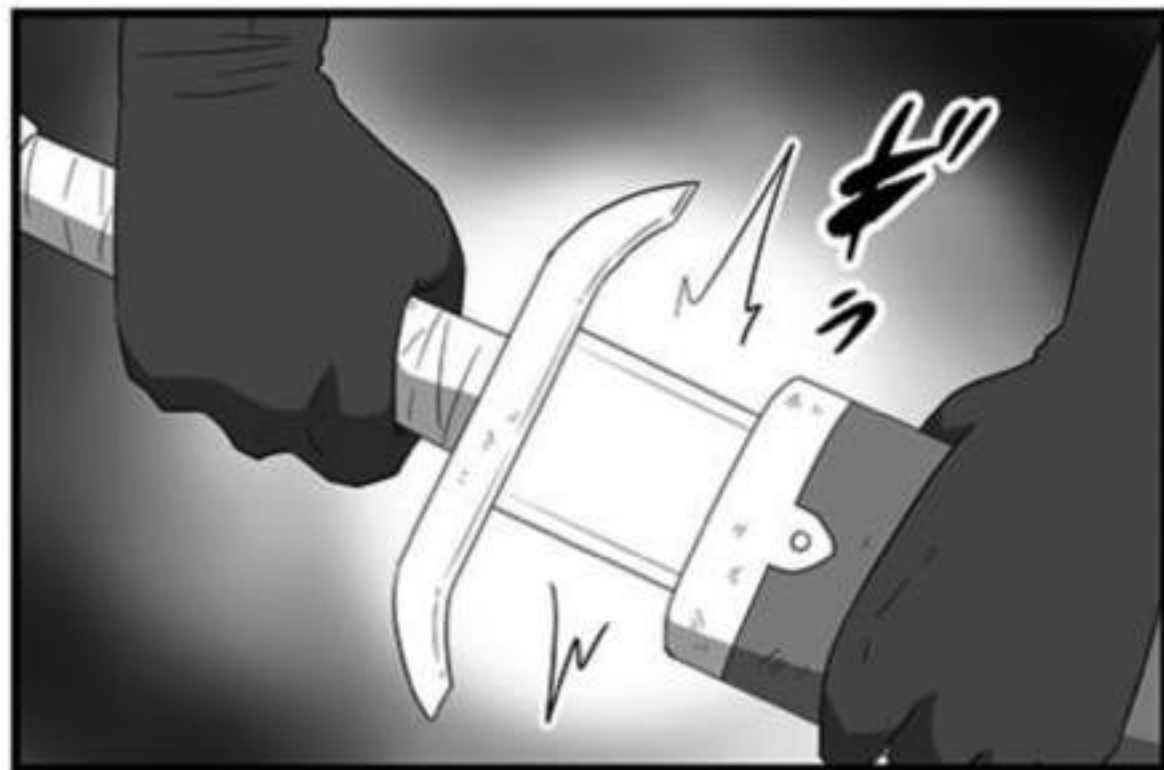
勇者よすまんが  
今日のところはもう  
宿屋に行つて  
休まないか...?

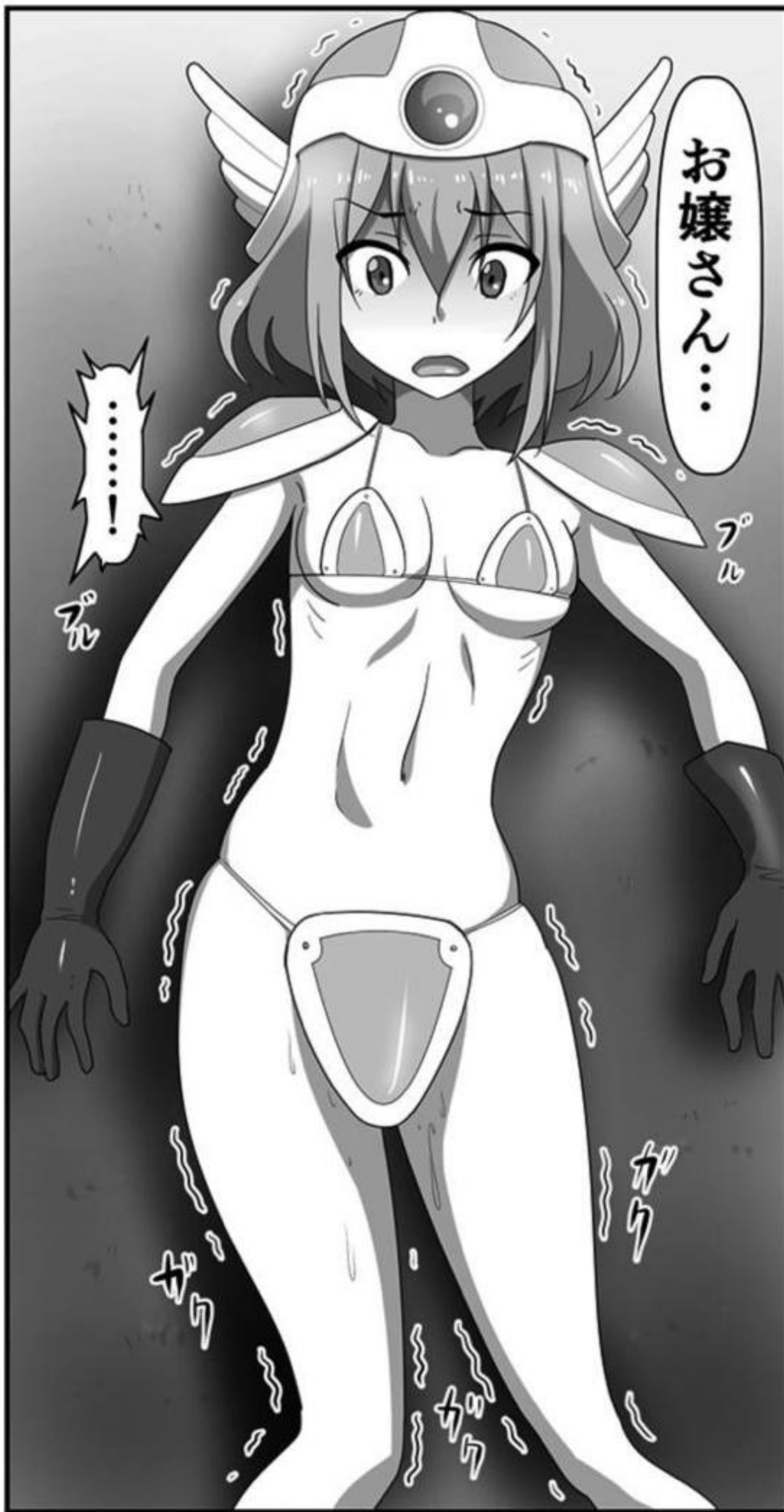


やはり  
前の町で  
モンスターに  
連れ去られた  
女の子たちは

行方不明になる前に  
みんなこの町の辺りまで  
連れてこられたようね







お嬢さん...

.....!

プル

プル

ガク

ガク

ガク

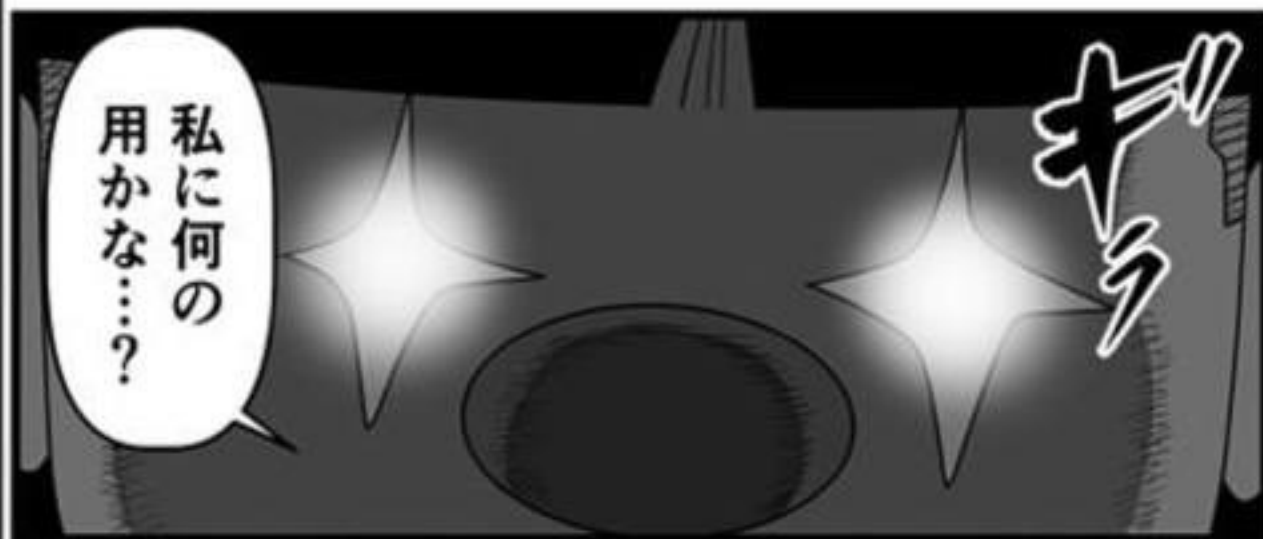


チン剣  
シラハドリ!



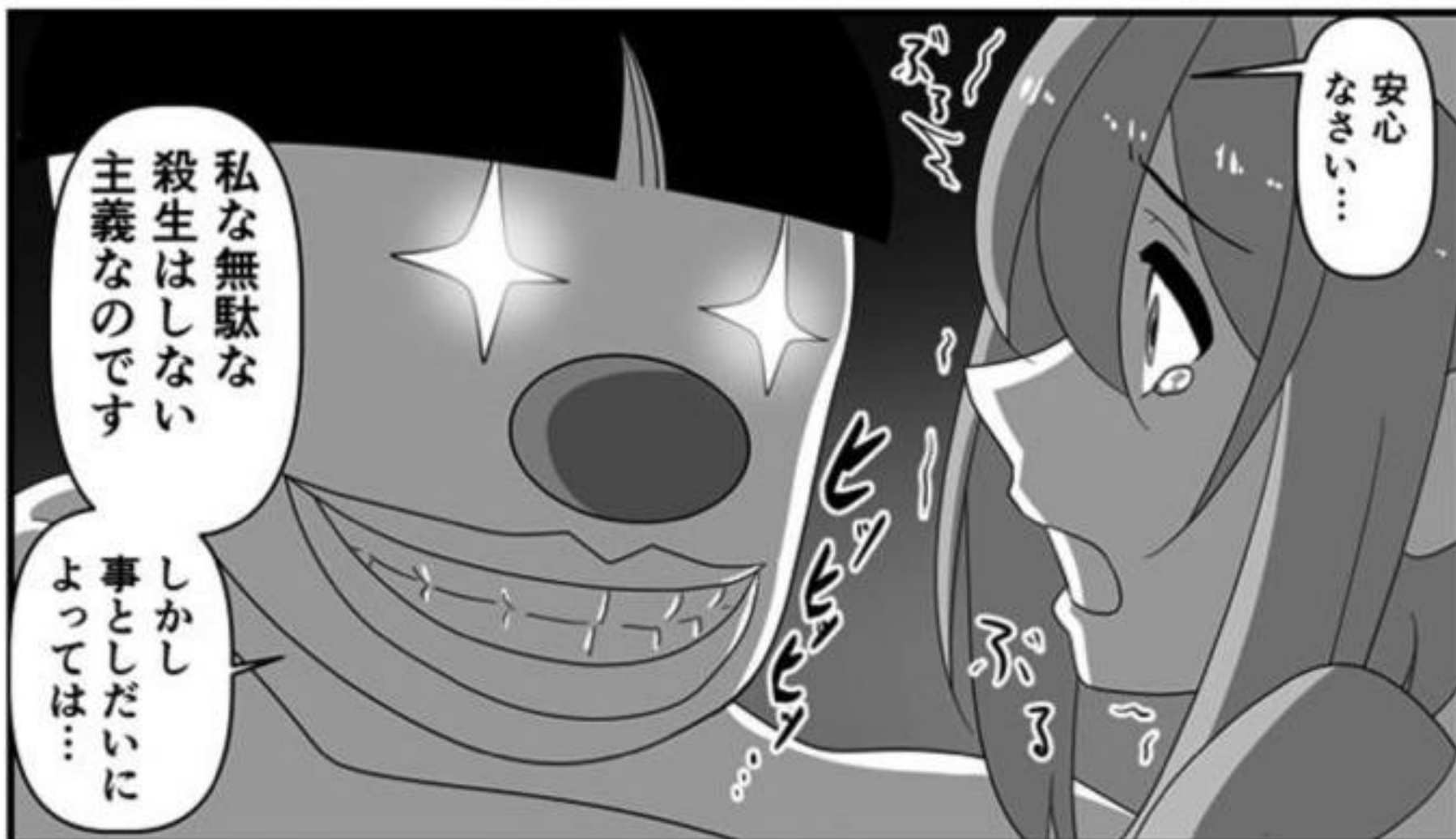
ヒッ  
ヒッ  
ヒッ

!!



私に何の  
用かな...?

ギラ



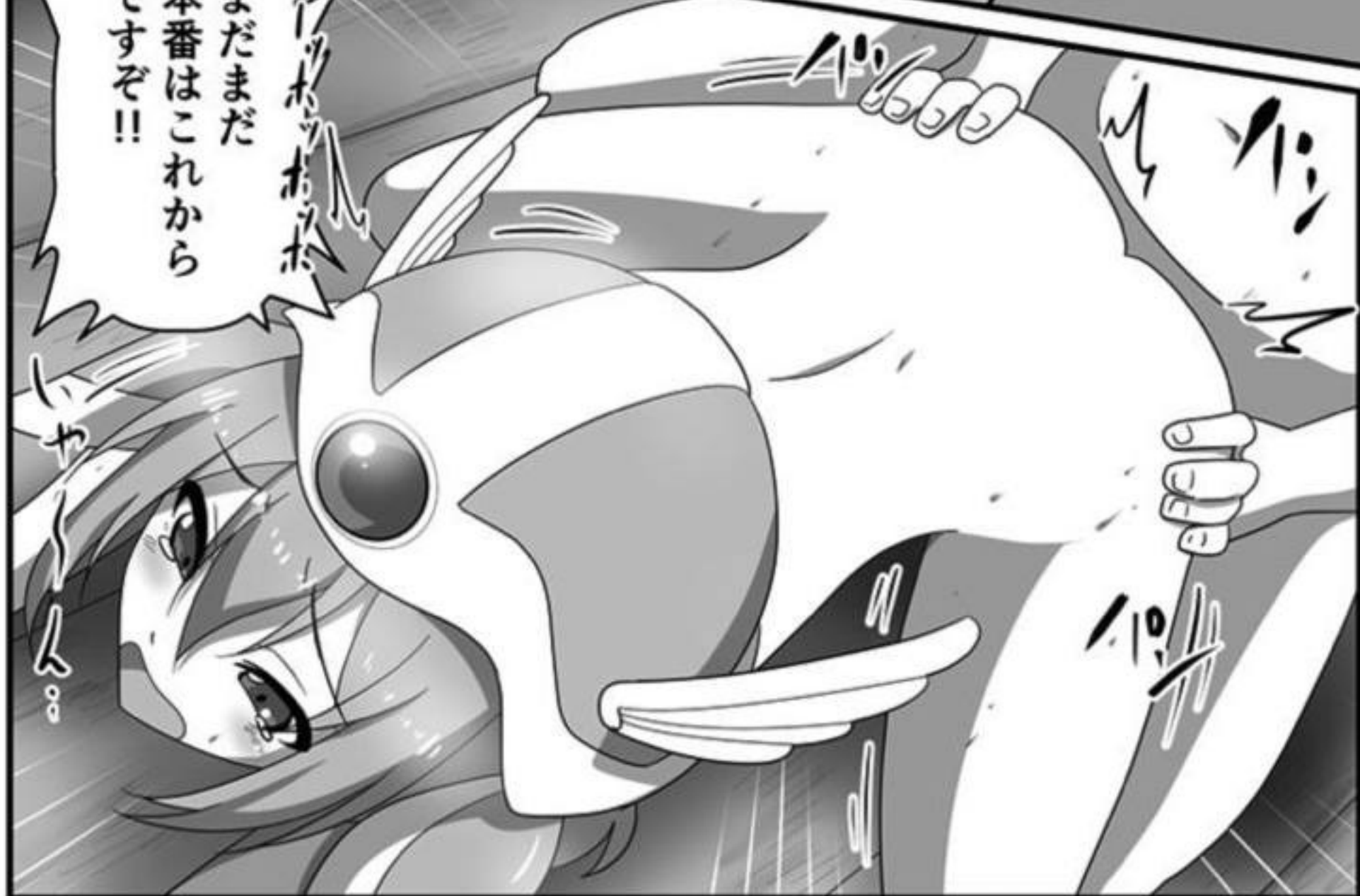
私な無駄な  
殺生はしない  
主義なのです

しかし  
事としいに  
よっては...

安心  
なさい...



ひい!  
こ、殺される!!





ホッホッホッ  
君はなかなか  
いいセンス  
しているのです

こんな  
スケベなことするの  
初めて



ああーん  
ダメエ！手も足も  
出ないっ！！

私の負けよ  
好きにしてー！



私も  
イってしまいそう  
なのです！



きてきて  
私の中にいっぱい  
出してえっ！！





ああ…  
熱いのが  
溢れてる…!



これは…  
…の…  
…の…



ちよっと性者!!

夜中にバタバタ  
うるさい!!



あんた  
昼間は  
疲れたとか  
言ってるよ!

何で部屋に  
女の子  
連れ込んで  
るのよ!

勇者よ  
これには  
わけが…



実は…

私には尊敬する  
姉上がいるのだ

姉上は  
正義感の強い  
村一番の戦士で  
私の憧れだった…



それで  
あなたは どうして  
このスケベオヤジの  
命を狙ってたわけ？



ある日  
姉上は

人間を  
売買している  
悪いモンスター共が  
いると知って  
そいつらを退治  
するために  
一人で村を出て行って  
しまったのだ…



村を出てからしばらくは  
定期的に連絡を  
くれていた姉上だったが

この半年間  
何の連絡も来なく  
なってしまった…

だから私は  
姉上に身に  
何かあったに  
違いないと思い

姉上の足取りを追って  
旅に出たのだ…



スケベな者とは何か？  
それを調べていた  
私の前に今日ついに…



スケベな者に  
捕まってしまった  
らしいとの情報を  
旅の商人から聞き出す  
ことが出来た…



すると  
どうやら姉上は  
この村の辺りで





え？  
モンスターが  
人身売買？



それに  
あなたのお姉さんを  
連れ去ったのは

おそらく  
私達が追っている  
人身売買  
モンスター集団に  
違いはないわ…



目的が同じなら  
捕まった人を  
助けるという

人のためになる  
勇者っぽいことに  
あなたも協力して  
ちょうだい



間違いないのです  
我々も  
前に立ち寄った街で  
人さらいをしていた  
モンスターを  
捕まえて

いろんな手を使って  
いろんな情報を  
聞き出したのです

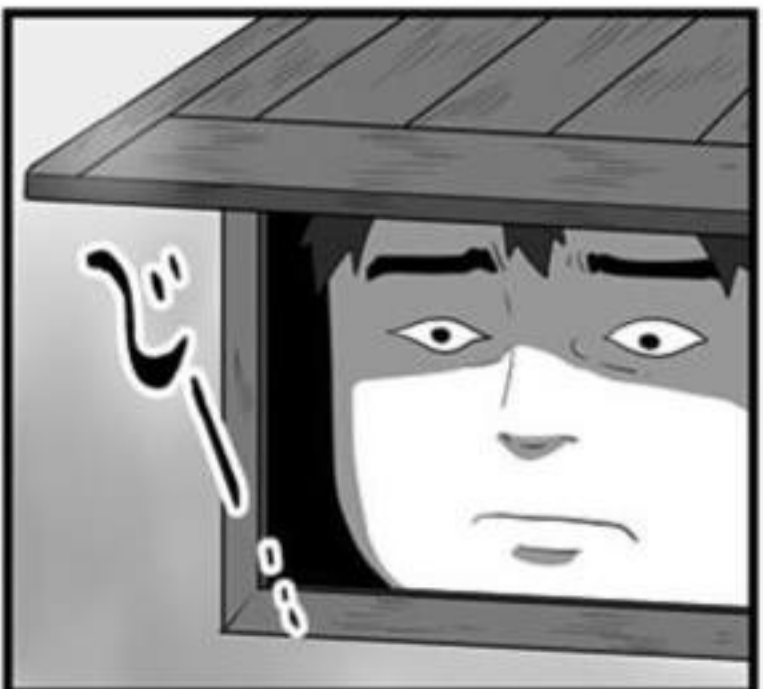
ふむ…



……



わかったわ！





あいつ  
一体何を!

大丈夫  
いつものことよ

あいつは  
いつもだいたい  
ああやって物事を  
解決していく  
タイプなの...



おや  
勇者にお嬢さん  
もう帰ってたのかい?

グリン

ド

ド



彼女の話によると  
モンスター達は  
この先の洞窟を  
アジトにしている  
みたいなのです

この村の  
人間はモンスターの  
仕返しを恐くて  
何も言えないのです



…とまあ



なるほど  
そうとわかれば  
さっそくその  
アジトへ行って  
捕まった人達を  
助けましょう！

え？あ  
う、うん



おとり用の  
服もちゃんと  
用意してあるのです

我々が後から  
ドーンッ！  
なのです

あの野郎…



だからまずは  
一番弱い勇者が  
おとりとなって  
敵をおびき出し

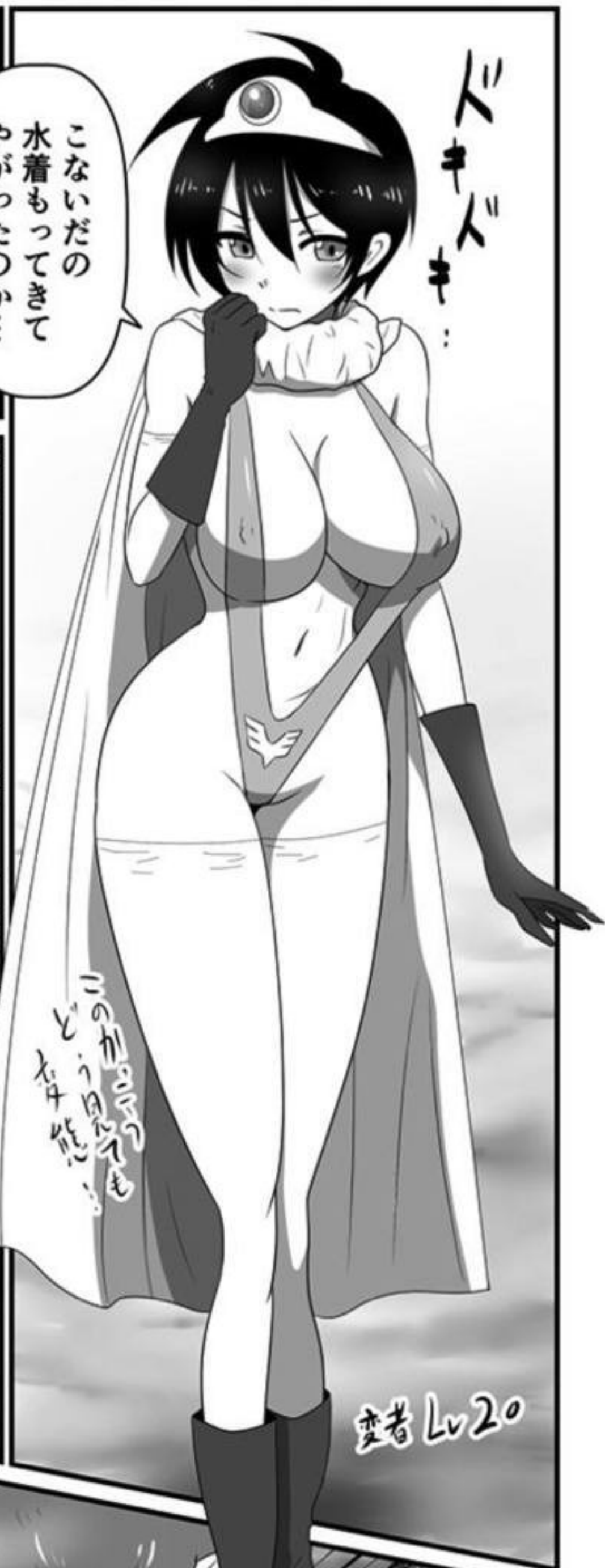
良いですか勇者よ  
敵はいつもターゲットが  
一人ぼっちのところを  
狙っている様なのです





あいつら  
本当に助けに  
来るんだろうな

こないだの  
水着もってきて  
やがったのか…



ドキドキ…



おい  
そこの人間!

こんな所に  
何の用だ?

ヒイ!  
いきなり  
出た!!



ヒヒヒ  
こんな格好で  
一人でうろついてる  
なんて…

いい度胸  
してんじゃ  
ねーか!

このかたの  
どいっつう  
七ヶ年

変者Lv20



犯されてえのか  
ええ!?

一緒に来て  
もらおうか!!







あ、姉上…  
どうして…!!

そんな…

ヒーッヒッヒッヒッ  
この女良い体  
してやがんぜ!

ボスの前へ  
連れて行く前に  
オイラ達で  
いたたい  
ちまおうか!?

せ、性者のおっさん  
何やってんのよ!  
早くドーンツと  
来なさいよ!!

